

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	95	下水道事業	事業コード	37018	
事業名	下水道事業会計						
評価担当課	所属名	下)経営管理部 経営企画課					
	課長名	葛西 顕	担当者名	金子 寛次	電話番号	818-3452	
施策名	主	下水道事業会計					
	副						
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外		戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外			
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費 <input type="radio"/> 臨時的経費						
	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 法定経費 <input type="radio"/> 指定管理						
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営 <input checked="" type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助助成 <input type="radio"/> その他					
	目的	短期	札幌をささえる下水道を次世代へつなぐため、以下の対応を行う。 ・急激な増加が続く老朽化施設への対応・増加する自然災害への対応・厳しくなる経営環境への対応				
		長期	下水道は、市民の安全で快適な暮らしと良好な環境を守り、社会活動を支える必要不可欠なライフラインであるため、計画的に事業を進め、健全な経営を持続することで、札幌をささえる下水道を次世代へつなぐ。				
	取組内容	札幌市下水道中期経営プラン2025に基づき、以下の取組を行う。 ・下水道機能の維持 ・災害に強い下水道の構築 ・公共用水域の水質保全 ・下水道エネルギー・資源の有効活用 ・財務体質の強化 ・運営体制の強化					
実施結果	札幌市下水道事業中期経営プラン2025に基づき、老朽化した管路や処理施設の改築を行ったほか、浸水対策として雨水拡充管の整備、地震対策として管路の耐震化などの事業を実施した。						
事業実施における工夫点	施設の延命化によるトータルコストの縮減に努めるとともに、施設の改築等の事業実施にあたっては、国庫交付金を積極的に活用するなど経費削減に努めた。						
対象者	市民及び事業者全般			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	下水道法、都市計画法、環境基本法、水質汚濁防止法 札幌市下水道事業の設置等に関する条例、札幌市下水道条例 等						
他都市の状況	他の政令指定都市も下水道事業を実施している。 下水道機能の維持・向上にあっても、同様の事業を進めている。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	87,469,101	88,787,000	85,970,636	87,678,000	
うち特定財源	87,469,101	88,787,000	85,970,636	87,678,000	
人工	483.0	483.0	480.0	482.0	
人件費	0	0	0	0	
計(事業費+人件費)	87,469,101	88,787,000	85,970,636	87,678,000	
事業費の内訳	令和3年度決算	維持管理費 令和3年度決算 18,428,049千円 建設事業費 令和3年度決算 21,892,207千円 ※職員の人件費は事業費に含まれている。			
	令和4年度予算	維持管理費 令和4年度予算 20,219,404千円 建設事業費 令和4年度予算 21,977,650千円 ※職員の人件費は事業費に含まれている。			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	下水道本管の詳細調査[km]			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	222	214	217	219	
活動指標2	指標名	管路改築延長[km]			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	24	34	32	36	
成果指標1	指標名	合流式下水道対策率[%]			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	70	70	70	70	
成果指標2	指標名	目標放流水質達成率[%]			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	100	100	90	100	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	「札幌市下水道事業中期経営プラン2025」に基づき、管路・処理施設の維持管理及び再構築、雨水対策や地震対策等、各施策を実施した。一部事業については当年度の計画を下回ったが、来年度は達成できる見込みである。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	8300kmに及ぶ下水道本管と10カ所の水再生プラザ、16カ所のポンプ場、2カ所の汚泥処理施設に対し、既存の下水道機能を維持管理するため、適切な規模で事業を実施した。			
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	「札幌市下水道事業中期経営プラン2025」に基づき、既存の下水道機能を維持向上していくため、優先度の高い事業を厳選し、効率的に実施している。			
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	A	総人口普及率99.8%、水洗化普及率99.9%となっており、市民に安全で快適な暮らしと良好な環境を提供できたものとする。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	今後、老朽化した下水道施設の急激な増加や自然災害の増加に直面するとともに、将来的な人口減少などに伴う下水道使用料収入の減少といった財政状況の悪化が懸念される。このような状況においても、社会情勢の変化に対応し、将来にわたり良好な下水道サービスを提供していく必要がある。				
前回の評価	<input type="radio"/> A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	中期経営プラン2020で示した指標に対して、一部下回った事業があるが、達成できる見通しを立てた。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	「札幌市下水道事業中期経営プラン2025」に基づき、概ね計画通り事業を実施できたため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 「札幌市下水道事業中期経営プラン2025」に基づき、将来にわたり良好な下水道サービスを提供していくため、急激な増加が続く老朽化施設への対応・増加する自然災害への対応・一層厳しくなる経営環境への対応を進める。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 「札幌市下水道事業中期経営プラン2025」の着実な実施に向け、計画的・安定的な事業の実施に必要な予算を計上する。		見直し効果額	0